

平成 21年 3月

三原幸子 学位論文審査要旨

主 査 井 上 幸 次
副主査 佐 藤 建 三
同 清 水 英 治

主論文

I κ B分解阻害薬のマウスアレルギー性結膜炎における役割

(著者：難波幸子)

平成21年 米子医学雑誌 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究はアレルギー性結膜炎モデルマウスを用いてI κ B分解阻害薬の役割を検討したものである。その結果、マウスアレルギー性結膜炎モデルにおいて即時相の臨床症状が悪化し、結膜局所の好酸球浸潤を促進させることが判明した。本論文の内容は、治療という観点からはネガティブなデータではあるが、その機序を更に解明していけば、アレルギー性結膜炎の病態や転写因子のアレルギー性疾患における役割について新しい視点が開ける可能性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。